

❖ 評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
傷害の防止について、 ・資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	傷害の防止について、 ・資料などで調べたことを基に課題や解決の方法を見つけたり、選んだりするなどして、説明している。 ・学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見つけたりするなどして、筋道を立てて説明している。	以下のことについて、理解したことを言ったり、書き出したりしている。 ・交通事故や自然災害などによる傷害の発生の原因 ・交通事故などによる傷害の防止 ・自然災害などによる傷害の防止 ・応急手当

❖ 単元と評価の計画

関：関心・意欲・態度 思：思考・判断 知：知識・理解
 ◎：該当する観点 ○：関連する観点

時間 (教科書ページ)	学習内容・目標	評価規準と評価方法例 (ノート：ノート、ワークシートなどへの記述)	評価の観点		
			関	思	知
第1時 (p.58～59)	1 傷害の原因と防止 ・傷害は、どんなことが原因で起こり、どうすれば防止できるかについて理解する。 ・具体的な場面で、どんな危険が潜んでいるか考える。	・中学生の傷害の現状を知り、その原因と防止の学習に取り組もうとしている。 【ノート、発言】 ・傷害は、人的要因、環境要因及びそれらの相互の関わりによって発生することを理解している。 【ノート】 ・具体的な場面を設定した課題に取り組むことで、危険を予測するとともに、傷害を防止するための対策について考えることができる。 【ノート、発言】	◎		○
第2時 (p.60～61)	2 交通事故の現状と原因 ・中学生の交通事故の特徴と交通事故の原因について理解する。 ・交通事故の発生要因を事例を通して考える。	・中学生の交通事故の特徴について関心を持っている。 【観察、発言】 ・中学生の交通事故がどんなときに多く、また、どんな行動が事故につながりやすいかを理解している。 【ノート】 ・交通事故の原因には人的要因、環境要因、車両要因があることを理解するとともに、事例を基に事故の発生要因について考えている。 【ノート、発言】	◎		◎
第3時 (p.62～63)	3 交通事故の防止 ・交通事故を防ぐための対策について理解する。 ・交通事故防止のための知識を役立てる。	・具体的な場面を設定した課題に取り組み、起こりうる事故について危険を予測している。 【ノート、発言】 ・危険の予測に基づいて、どのように行動すれば安全なのか考えている。 【発言、観察】 ・交通事故の防止には、交通環境の整備とともに、車両の点検・整備も必要であることを理解している。 【ノート、発言】 ・交通事故の防止に向け、行動などについて、可能な改善に取り組もうとしている。 【観察、発言】	○	◎	○
第4時 (p.64～65)	4 犯罪被害の防止 ・犯罪被害を防止するためにどうすればよいかについて理解する。 ・犯罪被害を防止するための方法を考える。	・犯罪被害が起こりやすい場所や場面について理解している。 【ノート】 ・危険の予測に基づいて、どのように行動すれば安全なのか考えている。 【発言、観察】 ・犯罪被害の防止には、安全を守るための環境の整備や取り組みも必要であることを理解している。 【ノート、発言】	○	○	◎

時間 (教科書ページ)	学習内容・目標	評価規準と評価方法例 (ノート：ノート，ワークシートなどへの記述)	評価の観点		
			関	思	知
第5時 (p.66～67)	5 自然災害に備えて <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害による被害を防ぐには，どうすればよいかについて理解する。 ・自然災害発生時の行動について，具体的な場面を想定して考える。 ※学校全体の教育目標などに応じて，次に挙げる「もっと広げる深める」を取り扱うとよい。	<ul style="list-style-type: none"> ・地震や台風，集中豪雨などの自然災害によって，生命や生活が脅かされたり，二次災害が被害を大きくしたりすることを理解している。【ノート，発言】 ・自然災害による傷害を防止するためには，正しい情報を入手し，的確に判断し，安全に行動することが重要であるとともに，日頃からの備えが必要であることを理解している。【ノート，発言】 ・自然災害による傷害の防止に向け，日頃からの備えなどの改善に取り組もうとしている。【観察，発言】 			◎
(p.68～71)	もっと広げる深める 自然災害 自然災害から身を守るために <ul style="list-style-type: none"> ・どんな自然災害があり，発生時にはどんなことが起こるかについて理解する。 ・自然災害から身を守るために日頃からどう備えるか，避難生活が必要になった場合，どうすればよいかについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害の事例に関心を持って向き合おうとしている。【観察，発言】 ・自然災害の事例を基に，発生時に起こりうることについて理解している。【ノート，発言】 ・自然災害の場面を想定して，発生時にどう行動すればよいかについて考えている。【発言，観察】 	◎		◎
第6時 第7時 (p.72～77)	6 応急手当の意義と基本 <ul style="list-style-type: none"> ・応急手当の必要性，手当の基本について理解する。 ・応急手当の一般的な流れを実習を通して理解する。 ・心肺蘇生法を実習を通して理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・応急手当の意義と基本的な手順を理解している。【ノート，発言】 ・実習を通して，応急手当の一般的な流れを理解するとともに，場面に応じた判断・通報などの行動をとることができる。【ノート，発言】 ・意欲を持って実習に取り組もうとしている。【観察】 ・心肺蘇生法の手順と方法を理解している。【発言，観察】 ・応急手当を行うための判断を行うことができる。【観察，発言】 	○	◎	◎
第8時 第9時 (p.78～79)	7 きずの手当 <ul style="list-style-type: none"> ・きずの応急手当の方法を実習を通して理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・きずの手当の基本を理解している。【ノート，発言】 ・止血の必要性と止血法について理解している。【ノート，発言】 ・骨折，脱臼，捻挫の手当として包帯法や固定法があることを理解している。【ノート，発言】 ・さまざまなきずの手当，止血法，包帯法，固定法の実習に意欲を持って真剣に取り組もうとしている。【観察】 		○	◎
			◎	○	○

※この章の第5時以降の時間配当については，次のように取り扱うことも考えられる。

- ・防災の内容全体で2時間，応急手当の内容全体で3時間とする。
- ・防災と応急手当を5時間でひとまとまりとし，そのうちの後半3時間をグループ学習や実習に充てる。など